

サント・ドミンゴ R-1 1798～1804

フランスプレイヤーはマップ上から歩兵クラス2個ステップを即座に除去すること

パブリックカード プレイ後除去

ふくろう党の叛乱 R-2 1793～1804

ブリテンプレイヤーは王党派叛乱軍指揮官のCadoudalとChouans戦闘ユニットをフランスのBrittanyあるいはNormandy地方にセットアップする。ただし要塞&都市ヘクスに配置不可能

パブリックカード プレイ後除去

ヴァンディー R-3 1793～1797

ブリテンプレイヤーは王党派叛乱軍指揮官のCharetteとLa Rochejacquin及びVendee&Retz戦闘ユニットをフランスのVendee地方にセットアップする。ただし要塞&都市ヘクスに配置不可能。

パブリックカード プレイ後除去

エリン R-4 1794～1804

フランスプレイヤーは叛乱軍指揮官のToneと彼の戦闘ユニットをIrelandにセットアップする。ただし要塞&都市ヘクスに配置不可能。

パブリックカード プレイ後除去

ヴァルミー R-5 1792～1797

野戦後処理手順においてフランスがモラルチェックを被ることになった場合、その直前にプレイ可能。その部隊はモラルチェックを免除される。野戦が引き分けに終わったらフランスが勝者となる

プレイ後除去

トゥーロン R-6 1793～1797

敵要塞を包囲中にプレイ可能。レベル1または2の要塞は即座に降伏する。籠城部隊は全滅する。または、レベル3の要塞に対しては包囲作戦で+3のDRMを得られる。

プレイ後除去

ヴァンデミエール R-7 1795～1797

Bonaparteはフランスプレイヤーの判断で、マップ上にあるフランス軍の軍司令官に即座に就任する。交替させられた軍司令官は指揮官プールに戻される。

パブリックカード プレイ後除去

白色円形章 R-8 1792～1797

【公安委員会 R-10】と【フランス国王処刑 R-25】プレイ後にプレイ可能。ブリテンプレイヤーはLyonnais軍団をLyonに配置、Provence軍団をMarseillesに配置する。さらに、Toulonが連合国の支配下になる。同ヘクスにいたフランス陸海軍ユニットは全滅する。

プレイ後除去

恐怖政治 R-9 1793～1797

このカードのプレイされた後フランスの部隊が野戦で敗北すると（小競り合いは除く）1D6を行い、4以上が出ると彼は処刑されゲームから除去される。【執政政府 R-12】がプレイされるとこのカードはキャンセルされる。

パブリックカード プレイ後除去

公安委員会 R-10 1792～1797

このカードには2つの効果がある。
①プレイされた以後、春季ターンのイベントフェイズでフランスプレイヤーは追加のカードを1枚獲得できる。
②フランスプレイヤーは同盟工作ができなくなる。
【執政政府 R-12】がプレイされるとこのカードの効果は終了する。

プレイ後除去

国民皆兵 R-11 1793～1797

【公安委員会 R-10】あるいは【フランス国王処刑 R-25】いずれかのプレイ後にプレイ可能

フランスは次ターンに臨時の経済フェイズを特別に実施できる。
【ヴァンディー R-3】カードを持つプレイヤーは次ターンに必ずプレイせねばならない。誰もこのカードを持っていなかった時には、当該ターン中、連合国プレイヤーは自分たちの持ち札から1枚を選び捨てて札パイルに捨てる。そして代わりに【ヴァンディー】カードを山札から選び強制的にプレイすること。

パブリックカード プレイ後除去

執政政府 R-12 1794～1797

【恐怖政治 R-9】と【公安委員会 R-10】のイベント効果を終了させる。

パブリックカード プレイ後除去

アルコレの橋 R-13 1796～1804

野戦で攻撃する場合にプレイ可能。橋梁の有る無しにかかわらず、河川越しの不利なDRMを無視できる。加えて、その部隊の司令官がBonaparteであった場合、作戦修正に+1を追加できる。

プレイ後除去

パーヴェルI世の暗殺 R-14 1799～1804

もし仮にロシアに士気阻喪状態の部隊がいたならば、ロシアはただちに連合国から脱退する。ロシアにプレイヤーがいるなら中立化、UMPなら非コントロール下になる。ロシアの領土外にいるロシア軍はすべて除去すること。

プレイ後除去

ブラウンシュヴァイク・マニフェスト R-15 1792～1797

このカードのプレイ後フランスはFlanders, Palatinate, 及びBadenへの侵入を禁止される。プレイ時点で既に領内にいる部隊も可能な限り速やかに領外に移動すること。フランスが前哨戦か決戦で最初の勝利を得るかあるいは、【ヴァルミー R-5】がプレイされれば禁止は解ける。

パブリックカード プレイ後除去

第2次対仏大同盟 R-16 1798～1804

このカードは年をまたいで手元に保持できる。オーストリア、ロシアはそれぞれ、2個戦列歩兵ステップを得て、減少戦力面の軍団を完全戦力にできる。補給下であるならマップ上のどこにいても良い。

パブリックカード プレイ後除去

スヴォーロフ R-17 1798～1804

ロシアの指揮官Suvorovを司令官に持つ連合国の部隊は自動的にモラルチェックをパスする。もしくは、野戦で+2戦闘修正を得る。

プレイ後除去

前線の暗殺劇 R-18 1799～1804

プレイヤーは、敵の最低でも★2つの指揮官（軍司令官でも可能）を1名選ぶ。選ばれた指揮官は指揮官死傷チェックをせねばならない。1D6を行い、4～6で戦死する。

プレイ後除去

ネルソン R-19 1795～ゲーム終了まで

ネルソンが指揮を執る活性スタックは追加でダイスを1個振れる。海上戦闘終了後、ネルソンの死傷チェックをせねばならない。1D6を行い、4～6で戦死する。

ネルソンが戦死した時のみプレイ後除去

喜望峯 R-20 1795～1797

もしもHollandがフランスに併合されるか、そのマイナーアライとなっている場合、ブリテンはHollandのアフリカ植民地を奪い取る。ブリテンは即座に、10£の収入を得る。

パブリックカード プレイ後除去

ブリテンvs.Holland R-21 1795～1797

もしもHollandがフランスに併合されるか、そのマイナーアライとなっている場合、ブリテンはHollandの植民地を攻撃する。ブリテン対Hollandの盤外戦争である。ブリテンはマップ上の1個海軍ユニットを盤外戦争ボックスに配置する。

パブリックカード 盤外戦争：5以上で除去

ハイランド R-22 1794～1797

Scotlandで叛乱が起きる。フランスは叛乱軍指揮官MuirとHighlanders戦闘ユニットをInverness（Scotland）にセットアップする。；ブリテンの戦闘ユニットが同都市に占めていたら壊滅する。

パブリックカード プレイ後除去

カルノー軍制改革 R-23 1793～1797

【公安委員会】プレイ後にプレイ可能。すべてのフランスの軍団ユニットは、戦闘修正値が+1になる。フランスプレイヤーは即座に2個軍マーカー（SpainとGermany）、1個工兵ユニット、2個輜重ユニットをコストなしでマップに配置できる。

パブリックカード プレイ後除去

亡命 R-24 1793～1797

連合国プレイヤー（ブリテンかオーストリア）はフランスの軍司令官で作戦能力が1以下の者1名を選び、ゲームから永久除去できる。後任の軍司令官を通常のルールに従い配置する。フランスプレイヤーは、軍司令官ではない指揮官（作戦能力1以下）を1名選び、指揮官プールに戻すことができる。

フランス国王処刑 R-25 1792～1797

フランスプレイヤーが【ヴァルミー R-5】あるいは、【公安委員会 R-10】プレイ後にこのカードを連合国盟主（ブリテンかオーストリア）が自動的に受けとる

プレイ後ブリテンとそのマイナーアライが未だ中立だったら連合国に加盟してフランスと交戦状態になる。連合国プレイヤーは王党派の指揮官CondéとÉmigrés軍団、1戦列歩兵ステップを受けとり、ブリテン、あるいは連合国ブロックでフランスに隣接している国家に配置する。

パブリックカード プレイ後除去